

令和5年度 浮野小学校グランドデザイン

学校教育目標



明るく

心身ともに健康で明るい子

なかよく

心豊かになかよく生活する子

正しく

よく考え、正しく判断する子

学校努力点

体を動かす楽しさを感じ運動に親しもうとする

児童の育成

- 「遊び」を取り入れた体育の授業の工夫
- 休み時間に体を動かせるような場の設定
- 複数年を見通した学校全体での取り組み

いじめを

見逃さない・許さない

- 各種アンケートの実施とその結果に基づく教育相談
- 教職員同士、および保護者との情報共有
- 時期を見逃さないケース会議の実施
- スクールカウンセラー、子ども応援委員会との協働

何を学ぶのかを知る

- 学習のめあての明確化
- 既習内容（わかったこと・疑問等）や生活体験を基にしためあての設定
- 自分の考えをもつ
- 思考ツールを活用した「見える化」の推進
- 多様な考えに気付く
- 考えを広げ、深めるための意見交流の場の工夫
- 多様な考えを認め合える学級集団の形成

よりよい生活習慣の定着

- 年間を見通した保健教育の充実
- 養護教諭による心とからだに関する指導
- 栄養教諭による食に関する指導

いじめを起こさない

- 互いを認め合い、しなやかな心を育てる学級活動の充実
- 縦割り班を中心に据えた学校行事・児童会活動
- 「いじめ防止教育プログラム」「うきのINGキャンペーン」の取り組み

学びに向かう姿勢を整える

- 学びのルール・マナーの確立
- 興味・関心の持たせ方の工夫

職場環境の改善

働き方改革の視点から業務の効率化を図り、職員が意欲的に働け、児童の指導に専念できる環境

明るく

心身ともに健康でいようとする職員

なかよく

互いの考えを尊重し合う職員

正しく

よく考え話し合い、最善の判断をしようとする職員

保護者・地域との連携

各種たより・HPIによる情報発信、学校関係者評価委員会等での意見聴取